

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和5年4月18日

学校名 福井市下宇坂小学校

校長氏名 竹林 史恵

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 下宇坂地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 節電や節水に努めます。
- ③ 学校内でのごみの削減・分別に努めます。

2 取組内容

①環境学習

- ・下宇坂地区の自然環境について学習します。

②節電・節水の取り組み

- ・各学級で、使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。
- ・手洗いや歯みがきでは、互いに声をかけ合い、使わないときに水を止めるようにします。

③ごみの削減・リサイクル

- ・アルミ缶や古紙の回収を、PTA や地域と連携して実施します。
- ・委員会活動を中心として、全校でごみを減らすための取組を行います。また、ごみの分別を徹底します。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

環境学習では、地域の方々に学びながら、森林の役割や木材の活用方法について、協力して学ぶ力を身につける。(コミュニケーション・協力)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">下宇坂小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①下宇坂地区の環境、地球環境について学習します。 ②節電や節水に努めます。 ③ 学校内でのごみの削減・分別に努めます。 	
<p>2 取組内容</p> <p>①森の学習</p> <p>・下宇坂地区の森の学習</p> <p>3・4年生は、学校林「うさかの森」で、森の学習を行いました。地域の団体「フォレスト高田」の方から、間伐の意義や方法について教えていただき、木を切り倒したり、木を引っ張って森から搬出したりしました。また、校区内の製材所に行き、自分たちが伐採・運搬を手伝った木が木材に加工される様子を見学しました。製材所の職員の方々から、丸太をどのようにして建築材にしていくのかということなどを教わりました。</p> <p>・「うさかの森」の木を使って</p> <p>児童が伐採・運搬・加工の見学をした木を使って、鳥の巣箱を作りました。これは、児童たちが相談し、「学校にいる鳥を守りたい」という思いで決めたものです。「フォレスト高田」の方に木材を切っていただき、児童が組み立てを行いました。</p> <p>②節水・節電の取組</p> <p>教室を出る際には、係や当番の児童が電気を消しています。夏の冷房や冬の暖房は、なるべく電気や灯油の使用量を削減できるようにマニュアルを作成しています。また、歯みがきの際には、一人一人が水を出したままにしないように気をつけています。</p> <p>③ごみの削減・分別</p> <p>環境委員の児童が、毎週金曜日にごみ集めをしています。ごみ袋の数がなるべく少なくなるようにまとめてから出しています。また、ポスターを作ってごみ箱の近くに掲示して、分別を呼びかけています。</p>	



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習では、ふるさと美山の自然や産業の一端に触れることができました。実際に林業に従事している地域の方々から、木を育て加工するまでを教えていただくことで、地域の産業を身近に感じ、そのすばらしさや価値について改めて考える機会をもつことができました。（相互性・連携性・多様性）

3
見直し

【具体的効果】

3・4年生の児童は、低学年の頃から「うさかの森」で遊んだり、学習の見学をしたりしてきました。自分たちが中心となって森の学習を進める番になり、意欲的に活動に取り組み、地域のよさを肌で感じていました。また、自然豊かな学校や地域を大切にしようという思いが育っていました。

【改善点】

児童数、職員数が減少している中で、今後も続けていくことができる活動を考える必要があります。